

第2回「監理団体および登録支援機関を 対象としたアンケート調査」結果について

経済人コー円卓会議日本委員会 岡田美穂
2026年6月3日

回答22団体

の半数以上（55%）が、監理団体・登録支援機関の双方に登録しており、また、職員による国籍カバー率は100%（扱うすべての国籍の職員を揃えている）。

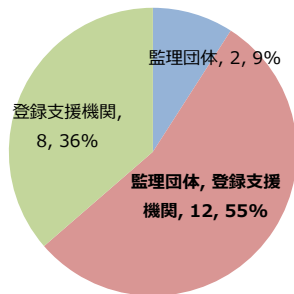
支援対象人数は、300名以上1,000名未満が最も多い。

（職員一人当たりの）支援人数の上限や目安を決めている団体が半数を超える。

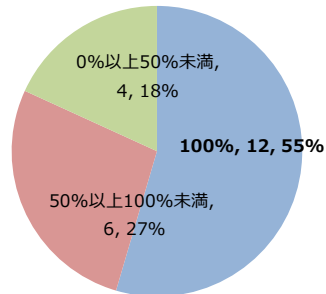
所属させる際の基準として、多く（68%）が、不測の事態に備えての事業所への駆け付け時間を挙げ、中には、受入企業の経営状況・環境・人権への取り組みを挙げた団体あり。

駐在判断の基準は、事業所あたりの外国人材が30名から50名、100名每など、の回答あり。

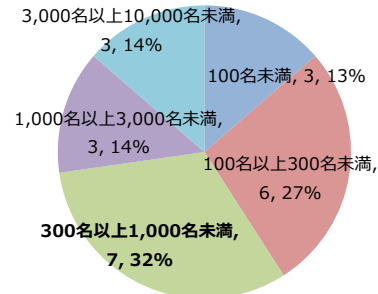
B-2 回答団体の種別



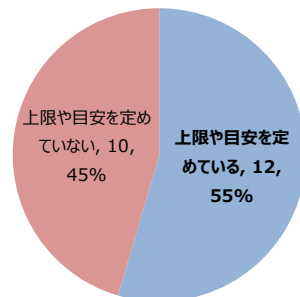
C-2 職員による国籍カバー率



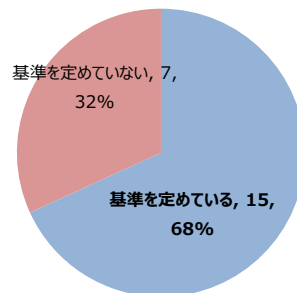
C-3 支援対象人数



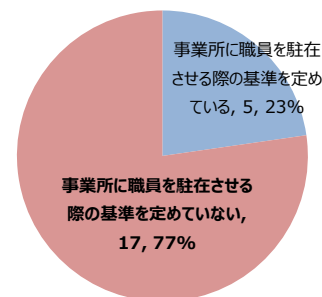
C-4 支援する人数の上限や目安



C-1 所属させる際の基準

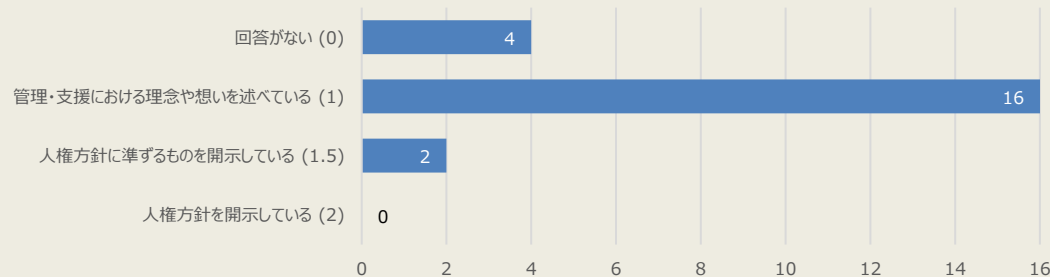


C-6 駐在判断の基準（評価の対象外）

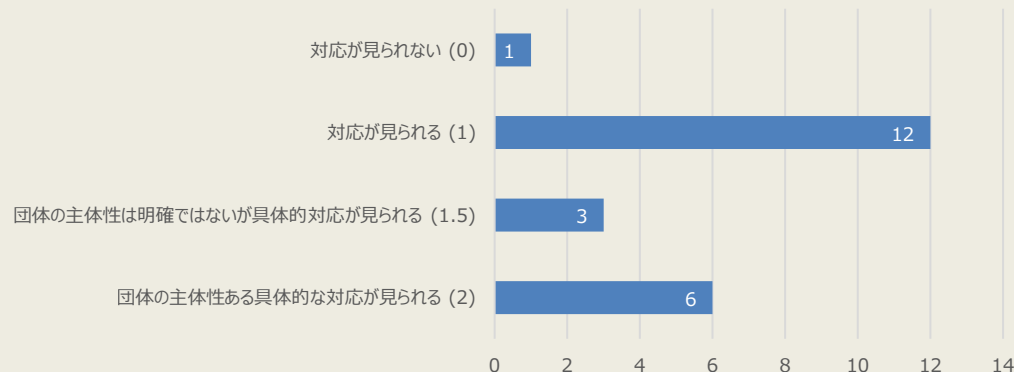


回答内容（1/3）設問D-1, D-2

D-1. 組織の理念、人権方針



D-2. 地域統合



何が得点に繋がらなかったか

指標の内容（質問）への回答となっていないもの。例えば、「当然です」といった回答内容や、指標の完コピを含む。

D-1のポイント：管理・支援に特化した内容ではないもの（例えば「法順守」など）は得点せず。

D-2のポイント：「主体性」の度合いに応じた判断。自身でイベントを企画するなどの強い関与を「主体性」の現れに。他主催のイベント周知や参加推奨は、「主体性」にならず。

D-3-1のポイント：送出機関と本人との契約上へ明記。返金対応はすべてをその対象とした場合に得点。

D-3-2のポイント：参考になる例、多数。

D-3-3のポイント：全体として得点低い。

D-3-4のポイント：制度や仕組み、参考になる例、多数。

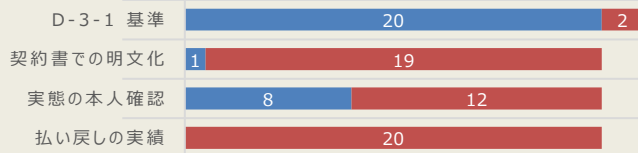
D-3-5のポイント：多くの団体で声を上げるツールは設けるが、運用ルール、心理的安全性、声の件数開示はぐっと。

D-3-6のポイント：多くの団体において「すべて記録し」の確認とれず。基準を満たさない場合は次の評価に進めないの、平均点が最も低い結果に。

D-3-7のポイント：セミナーの参加のみではNG。プラットフォームへの会員でOK。

回答内容（2/3）設問D-3-1～D-3-6

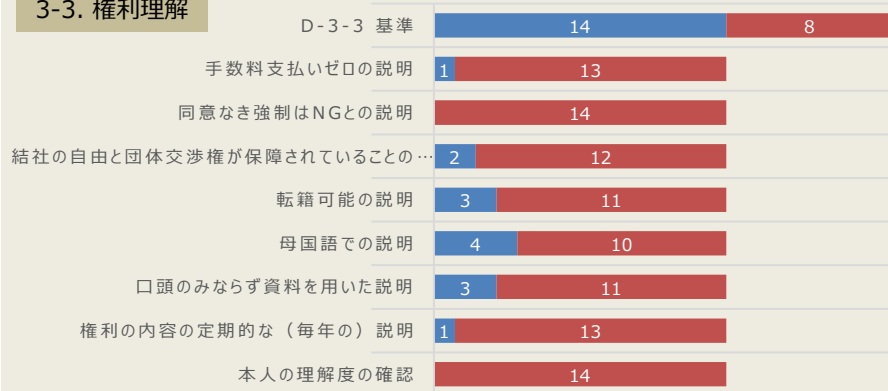
3-1. 手数料



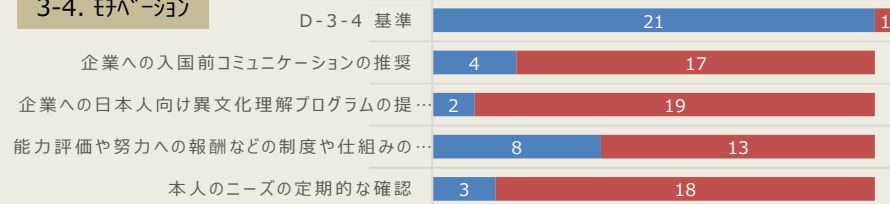
3-2. 業務理解



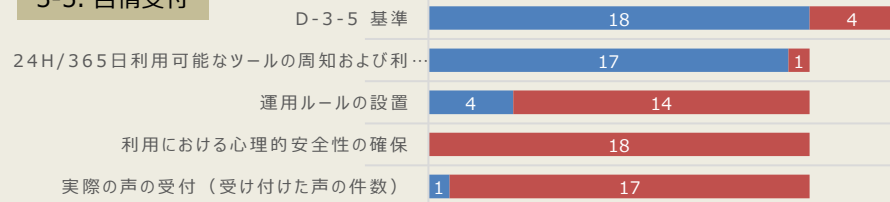
3-3. 権利理解



3-4. モチベーション



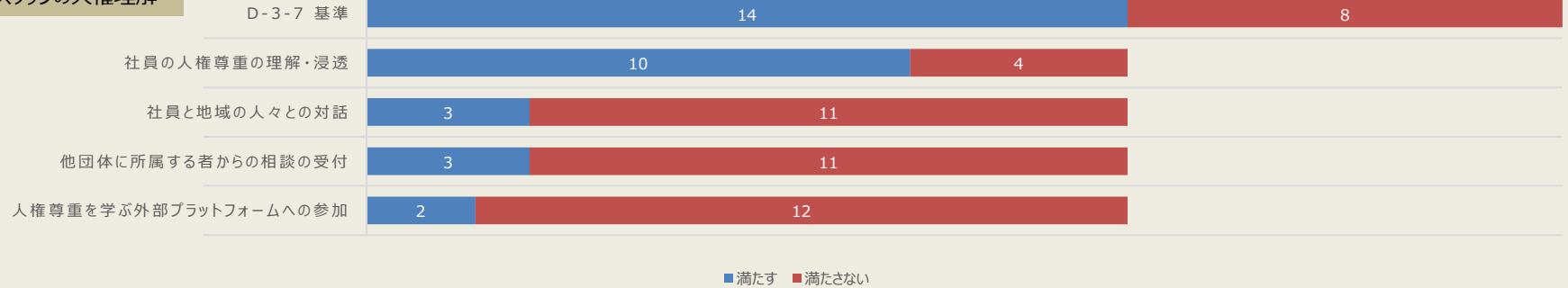
3-5. 苦情受付



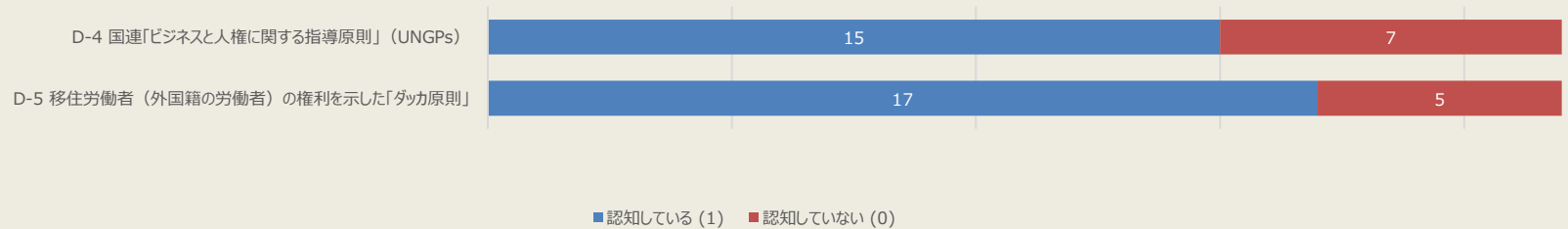
3-6. 苦情対応



3-7. スタッフの人権理解



4&5. 国際規範の認知



頂戴したご意見

- 「実際の現場の努力がスコアに十分反映されていない」（本当は活動をしている）
- 「自らの取り組みを客観的に評価する良い機会になった」「他の団体の活動内容を参考に、当組合の運営上の課題や改善点をより明確に把握できる」
- 「この仕組みを通じて制度の本来の意義を世に広めてほしい」

今年も実施します。ご参加ください。

今年秋から冬に参加表明を募り→アンケートリンクを送付→来年1月末までのご回答

Caux Round Table Japan
経済人口一円卓会議日本委員会
<https://crt-japan.jp/en/>

info@crt-japan.jp